

○ 分析結果

	<p>事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること</p>	<p>工夫していることや意識的に行っている取組等</p>	<p>さらに充実を図るための取組等</p>
1	<p>専門性の高い個別支援と計画の適切な実行</p> <p>個別支援計画がお子さまと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で適切に作成されていると評価して頂いていた。</p>	<p>支援会議や日々のミーティングを通じて個々の特性に沿った対応を検討し、職員間での対応統一を徹底している。</p> <p>面談等で聞き取った内容を元に個別療育の課題を選定し個々に合わせた課題を提供している。</p>	<p>研修を強化し専門性をより高めると共に、支援計画の内容が全職員に深く理解され統一された支援が提供されるよう周知方法の見直しを行う。</p>
2	<p>保護者との緊密な連携と信頼関係</p> <p>送迎時等、日頃からの情報共有や職員の共感的な支援について高い評価を頂いた。</p>	<p>状況のお伝えに留まらず、こちらからも能動的に聞き取りを行い、共通理解を持つ姿勢を意識している。</p>	<p>保護者会や交流会が不足しているとの評価を踏まえ、保護者向けのイベントや交流機会を設ける方策を具体的に検討・実施し、家族全体への支援を強化する。</p>
3	<p>子どもの満足度と情緒的な安心感を重視した支援</p> <p>お子さまが精神的に安定し、満足して通所できている。職員の個々へのきめ細やかな配慮が、お子さまの情緒的な安心感を支えている。</p>	<p>個々の状況に合わせた柔軟な対応を心がけ、安心して通える環境を整えている。</p>	<p>活動プログラムの柔軟性を高め、より多くの選択肢を提供できるよう活動の工夫を継続し、お子さまの主体性や満足度の向上を図る。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>施設スペースの限界と有効活用</p> <p>事業所が物理的に広くないため、「スペースが広いと嬉しい」「定員がいっぱいになると狭く感じる」というご意見を頂いている。</p>	<p>施設の物理的な制約に加え、静養室が機能的に使えていない等、スペースの有効活用ができていない。</p>	<p>レイアウト変更や物の配置を見直し、活動スペースの確保に努める。また、静養室の整理整頓と使用ルールの策定を行い、機能を回復させる。</p>
2	<p>地域連携・交流の機会不足</p> <p>放課後児童クラブや児童館、地域の他のこどもと活動する機会が少ないという評価結果が出ている。また、就学前施設等との連携も不十分。</p>	<p>施設外での交流機会を設ける新しい取り組みは検討に留まり、具体的な実行に至っていない。</p>	<p>地域の行事への参加等を通じ関係性作りを行う。他機関との交流機会を積極的に計画・実施する。就学前施設からの情報共有体制も構築し、切れ目のない支援に繋げる。</p>
3	<p>業務改善サイクルと安全管理プロセスの課題</p> <p>業務改善のためのPDCAサイクルへの職員の参画が一部に留まり、活発な意見交換に繋がっていない。また、事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアルの整備状況や家族への周知が不十分という課題ある。</p>	<p>ミーティングが情報共有に留まり、具体的な議論や改善策の検討時間が不足している。また、マニュアルの整備、職員間での周知、そして保護者・家族への情報提供プロセスが明確に確立されていない。</p>	<p>定期的なケース会議や支援会議の時間を確保し、全職員が参画できる環境を整える。また、マニュアルの再整備と職員・保護者への情報提供プロセスの確立を図り、安全管理体制の質を向上させる。</p>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ライズ児童デイサービス港南台

公表日 2026年3月15日

利用児童数 36

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	6	0	0	もう少しスペースが広いと嬉しい。	物の配置、レイアウトの変更等過ごしやすい環境作りが可能な方法を検討。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	3	0	4		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	0	3	事業所の中の様子がわからない。	設備や環境の変化があればご案内する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	4	1	2	バズルマットを定期的に交換していただくと衛生的に安心。	マットの交換を実施。 今後も定期的な入替を行う。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	1	0	常に変わる子どもの状況に合わせて適切な対応をして頂き感謝。 職員さんによってはどうなのかなぁ？と思う事がある。	研修の実施。 利用者様個々の特性に沿った対応の検討と、対応が統一できるよう周知徹底する。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	2	0	0	現状を理解しニーズに合わせて、課題を考えてくれている。急な視力低下で、保護者が戸惑う中でも必要なサポートを考えてくれた。	引き続き利用者様、保護者様のニーズを捉え適切な支援を継続していけるよう取り組む。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1	1	1		全ての従業員が計画を理解し支援にあたれるよう周知方法の見直しを行う。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	4	1	1	外出を増やして欲しい。	利用者様の特性や状況に応じ柔軟なプログラムが組めるよう活動実施方法の見直しを行う。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	3	7	8		施設外での交流機会を設けられるよう新しい取り組みを検討する。
保 護 者 へ の 説	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	3	1	0		不足が無いよう説明内容を改めて精査。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	5	4	7		研修会の情報提供や保護者同士の交流機会を設ける方策を検討。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	3	1	0	送迎時に状況をしっかり伝えられており安心できる。 こちらのことも聞き取ろうとくださるため共通理解ができている。	状況のお伝えに留まらずこちらからも能動的に状況をききとり共有していく姿勢を持つ。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2	1	0	悩みすぎで考えすぎてしまう時も送迎での引き渡しで、ライトに受け入れてくれる事で気持ちが軽くなってもらえることがある。	助言を求められるだけの信頼を受けられるよう、日頃から信頼関係を築くと共に必要な知識について研鑽に努める。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2	1	0		丁寧な説明や聞き取りを行う。	

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	7	8		保護者参加型イベントや保護者向けのイベント等が実施できないか検討する。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	3	1	2		気軽に相談できる体制の構築。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	3	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	0	1	写真付きで掲載される為、様子が知れて嬉しい。祖母も見れる為いつも楽しみにしている。	今後も分かりやすい発信を心掛ける。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	0	2		引き続き適正な取り扱いを行う。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	5	0	2		必要十分な情報提供が出来るよう整え周知していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	3	0	2		必要十分な情報提供が出来るよう整えて周知していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1	1	1	特に職員さんたちの対応に安心できていると思う。	安心して通える環境を整える。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2	1	1	嫌がることなく、受け入れが良い。	来所が楽しみになる様活動内容や環境の見直しを定期的に行っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1	1	0	職員の対応に満足している。視力低下で不安でいっぱいな時も、職員さんたちの対応のおかげで夏休みを乗り越えることができた。	利用者様のニーズを引き出し満足に繋がる様工夫しながら運営を行っていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ライス児童デイサービス港南台		3月15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	3	修繕、整理なども行って対応している。	車椅子利用の方のオムツ交換スペースなど全体的に狭い。 定員がいっぱいになると室内は狭く感じられる。 目が届く死角のない一つの空間だが人数が多い時はスペースが狭い。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	配置人数は守られている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	絵カード、その他の掲示をしている。 荷物等の場所を決めて可視化しスケジュール等を分かりやすくしている。	事業所内のバリアフリー化は難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	4	日々の清掃はしっかりと行っている。	定員がいっぱいの日などは窮屈に感じる。 狭く過ごし方が限られる。 空調、エアコンの掃除が難しい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	5	部屋ではないがマットで仕切りを作る。	活用できるスペースになっていない。 静養室がもう少し機能的に出来ると良い。 静養室に物が溢れ物置のようになってしまう。 静養室の使用基準、ルールが定まっておらず運用できていない。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	朝礼、終礼等で業務の改善や定期的に店舗会議を行い振り返り等を行っている。 定期的なミーティングを行っている。	一部の職員に限られている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	評価表を基に業務改善につながる様ミーティングを行っている。	HUGやLINE、送迎等で意見等は聞いているが集まる機会の場は設けられていない。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	朝礼、会議等で情報の共有されている。	ミーティングは実施しているが活発な意見交換にならない。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3	定期的に評価を受け、改善に取り組んでいる。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	定期的な研修、また外部からの研修が行われている。 向上を図る為に事業所内で研修を実施しており学びの機会がある。	外部の研修は内容の深い研修が必要だと思う。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	週間スケジュール、イベント等はしっかりと告知されている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	定期的な面談、アセスメントは行われており情報も共有されている。 児童と保護者のニーズや課題を客観的に捉え作成されている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	支援会議を行い児童に対しての情報の共有、対応はされている。	共有されているが職員の意見や理解が十分ではない。 共通理解を深めるのが課題。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	計画に沿った支援がされていると思う。	共有はされているが全職員が計画に沿った支援をしているかわからない。 周知が不十分だと感じる事がある。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	児童に合ったツールや個別療育、運動療育が取り入れられていると思う。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に	7	1	アセスメントや面接、会議等で改善、共有されている。	具体性が足りないと感じる部分もある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	週や月でプログラムを組んで取り組んでいる。	担当職員や個々で行うことが多く、意見も少ない為チームとしての協議、検討が十分ではない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	個別療育や運動療育の内容には修整を加えながら取り組んでいる。興味、状況に合わせて内容を工夫したり、新しい活動を考えたり意欲的に参加出来るよう心掛けている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	週間、月間の活動はしっかりとプログラムされて行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	朝礼、昼礼、終礼等で情報の共有、日々の振り返りを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	朝礼、昼礼、終礼等で情報の共有、日々の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	2	経過記録などの記入、情報の共有により検証、改善に取り組んでいる。次回のステップアップや改善につながる様記録を付けている。一部の者しか行っておらず徹底されているとは言えない。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	モニタリングは定期的実施されている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	2	ガイドラインに沿った支援が行われている。無理なく多様な体験が得られるように工夫している。	地域交流の機会がほぼない。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	1	自分で考え選択できるように声掛けを行い考える力や自己決定力を育てる支援を意識している。	選択等は出来ているがもう少し多くの選択肢が選べると良いと思う。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	児発管や支援に関わるスタッフが参加している。	関係機関との会議はあまり多く実施されていないと思う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4		医療機関と連携しているがどのような体制を整えているかわからない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	学校等では送迎や電話などで共有が出来ている。HUGで公開している。迅速な対応を心掛けている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	6	保護者の方からの情報は共有されている。	不明。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	保護者に事業所での過ごしをまとめた物をお渡ししている。	今まで卒業する児童があまりいなかった為、今後は福祉サービス事業所などに関わるとよい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		関係機関での研修等はあまり行われていない。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		現在は他の事業所との交流はない。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		参加しているが少ない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎、連絡ツールで児童の情報は共有されている。 送迎時や連絡帳で伝えたり面談の際に状況や課題について話をする機会を設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	市や関連機関主催のイベント案内等を共有している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明はされており不明な所は随時対応している。 契約時に説明をしている。変更があった際も説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	定期的な面談、日々の情報共有など行い対応の改善などに取り組んでいる。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	保護者の方に確認を行い計画書は立てられている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1	何かある際は随時面談等を実施している。 面談や送迎時に必要に応じて助言を行うと共に支援方法の対応についても情報共有している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7		保護者会や交流会などはあまり実施されていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	苦情などには迅速に対応している。 全職員で内容を確認して迅速に対応している。再発防止の為に改善案も検討している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	HP、写真、連絡帳を通して保護者の方にお子様の様子をお伝えしている。 ホームページや連絡帳にて情報の共有、告知はされている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1	写真や送迎表などの取扱いはしっかりと出来ている。 ネットなどに個人情報が含まれない様配慮している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	可能な限り出来る問題には対応させて頂いている。 言葉と共にサインを使用したり視覚補助を行う等伝達方法を工夫している。 活動内容をホワイトボードに記載し表示している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		特に実施はされていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	3		実施されているがマニュアルの整備状況や周知が不十分。 家族への周知が出来ているとは言えない。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	定期的な避難訓練等は実施されている。	安全性が保障された上でビル全体、せめて同じ階だけでも非常時の対応方法の周知を行う事も必要だと思う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	アセスメントシート等で情報の共有はされている。 利用開始の際に聴き取りをしている。	緊急時に適切に対応できるように職員間で情報共有が必要だと思う。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2		医師の指示書はない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	3		安全計画の作成、実施はあまり行われていない。 安全管理に必要な研修や訓練は実施されていない。 車両などの点検はしているが素人判断では難しいので専門家による点検を実施して欲しい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3		具体的な内容までは伝わっていないと思う。 詳しい取り組み内容を伝えるなど改善が必要だと思う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	全てのスタッフに共有出来ていると思う。 ヒヤリハットの内容、情報、対応はしっかりと共有され改善されている。	すぐに共有しているが再発防止に向けた具体的な話し合いは十分に行われていない。同様の事象が発生しないように工夫していく必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に研修は行われている。	個人的に疑わしいと感じた場合の対応が適切であったか振り返りをし、事例共有か対応確認を行うのも必要だと思う。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	2		話し合いなどはあるが明確には対応等は記載、共有はされていない。 対応についての組織的な決定がされていない。